

## 10月27日（木）うしお製袋株式会社での講演会報告

理事長の大川先生が産業医を務める「うしお製袋株式会社」の職員に、『新型コロナウイルス感染症と今年の冬』というテーマで今後のコロナ感染症の見通しや第6波への備えなどについて講演を行いました。

今年7月初旬頃から徐々にコロナ感染の新規患者数が増加しはじめ、一時は全国で1日に20万人を超える時もあり、ようやく第5波が終息に向かう中で参加された皆は真剣に聞き入っておられ、講演後に質疑応答では「ワクチン接種の効果」や「副反応について」「今後の生活様式について」など多くの質問が寄せられ関心の高さを伺うことができました。



## 園芸療法の様子をご紹介します



外出や院内のイベント開催は困難ですが、園芸療法で花や緑と触れ合った皆様は大変喜んでいらっしゃいました。

秋には、作業療法展を開催いたします。  
次号のニュースレターでご紹介予定です。



## インフルエンザワクチン接種について

今年度のワクチン供給量が少ないため、当院のかかりつけの外来患者様を対象にワクチン接種を受け付けています。

在庫状況により接種できない場合もあります。

事前にお問い合わせ下さい。

## 10月の新入職のご案内

事務部 井上 翔太



医療業界は初めてで覚える事が沢山ありますが少しでも早く覚えて、貢献できるようにがんばります。

# ノロウイルス感染症とその予防について

いよいよ本格的な冬の季節となり、11月～翌年2月頃にかけてノロウイルスによる感染性胃腸炎がピークになる傾向にあるので感染しないように注意が必要です。

感染性胃腸炎とは、主にウイルス等が原因となって引き起こされる胃腸炎のことです。原因となるウイルスには「ノロウイルス」、「ロタウイルス」などがあります。

主な症状としては、1日～2日間の潜伏期間を経て吐き気や嘔吐・腹痛や下痢・発熱や頭痛などの症状が現れ、通常では1日～2日続いたあと治癒することが多いのですが、ロタウイルスが原因の場合は5日～6日続くことがあります。

これらの感染が起こる経路としては、下記の絵にある通りです。

治療方法としては特別な治療法はなく症状を軽減させる処置が行われます。症状が持続する期間が短いので、その間に脱水にならないように十分な水分補給が大切です。

予防方法として一番大切なことは、十分な流水による石鹸での手洗いや手指消毒が効果的です。また、牡蠣や二枚貝を調理する際は中まで火が通るように十分に加熱して、生食はできる限り控えるようにしましょう。その他には、次亜塩素酸ナトリウム（市販のハイター）でドアノブや手すりテーブル等を拭くことでウイルスを失活させることができます。

手に付着した細菌やウイルスにはアルコール消毒液が有効ですが、ノロウイルスに関しては効果がありません。当院では手指消毒液（ウエルセプト）を使用しています。

